

第廿番 宗三寺（如意輪観世音菩薩）

*宗 派 曹洞宗

*御本尊 釈迦如来

*開 基 佐々木四郎左衛門高綱（鎌倉時代・僧室玄統の開闢）

*開 山 白山純應大和尚・寶泉寺四世

*現住職 第二十世 服部直哉

*〒二一〇一〇〇〇六 川崎市川崎区砂子一―四―三

*☎〇四四―二二二―五〇五一

*JR「川崎」駅より徒歩五分（京急川崎駅ホーム前）

鎌倉右大将頼朝の時代、臨濟宗建長寺の末山にして勝福寺と称した。佐々木高綱がこの地を領せし時に当寺を菩提寺と定め、砂子一村を寄付し、寺門の繁栄をみた。又、天正（一五七三―一五九二）の頃、小田原北条氏の家臣間宮豊前信盛がこの地に住み、近郷を領地とした時、高綱の子孫と云うことで土地の寄進を行なっている。この時代（天正年間）下末吉寶泉寺四世白山純應大和尚を開山に迎え、現在の曹洞宗の寺院として開堂された。山号と寺号は中興開基信盛の戒名（瑞栄院殿雲谷宗三大居士）に由来している。

ご 詠 歌

まいるより

ちかいをむすぶ

かんぜおん

のちのよまでを

まもりたすけん



（第20番 宗三寺）